

千歳市長面談報告と3月千歳ALSの会報告

三浦 迪子

◎千歳市長面談 日時 2009年2月27日(金) 午前10:30から
場所 千歳市役所

前回お知らせした千歳市への要望書は、市長面談となりました。千歳市は中間選挙の時期で、普通ならこのような要望書は議会が終了後、委員会付託となるのですが、実質委員会は開かれないため、直接市長面談へと変更となりました。



今回の面談に出席できる方を、森さんからお願いいたしましたところ、複数のご家族、市外からも参加の要望が寄せられました。合計18名にもなりましたが、事前に人数制限はないとのことでそのまま名簿を提出しましたら、行政側を含めると25,6名になるので、入れる部屋はあっても大きなお部屋になりお互いに意思の疎通は大変になるので何とか10名前後にしてもらえないかということでした。また、千歳市の行政に直接関わることなので出来れば市内在住の方にしてはどうかということもあり、1家族1名、現患者家族、ALS北海道支部から代表、北海道難病連相談室1名、千歳支会代表と事務局に泣く泣く絞らせていただきました。

Yさんは遺族ですが、移送の問題で支笏湖からの移送に関わってくれた社会福祉協議会のドンちゃん号の存在の大きさをアピールして頂くために参加して頂きました。

お断りすることは身を切るほど辛く申し訳なく思いましたが、皆さん快く了解してくださいましたので事務局として本当にありがたく思っています。

面談にあたり、千歳市会議員村上洋子氏には、多大なるご尽力を頂

きました。

また、資料作成にKさんご家族に大変なご協力を頂きました。

行政側から

千歳市市長 山口幸太郎氏

保健福祉部次長 平仁志氏

広報公聴課 2名

千歳市市民病院事務局長宮崎肇氏

マスコミ

朝日新聞

千歳民報

今回のお世話をしてくださった村上洋子氏と顔合わせの後、参加者の紹介簡単な打ち合わせの後、会場へ移動しました。

挨拶の後、村上さんの司会で進めていただきました。

森支会長から山口市長への要望書と資料をお渡しました。あらかじめ村上市議から要望の内容はお伝えしてありましたので、千歳市民病院宮崎肇事務局長から、現状と今後についてのお話がありました。現在訪問診療を行っているが、内科医の不足等により厳しい現状がある、しかしKさんYさんについてはひき続いて往診を行うという回答でした。ほっと一安心でした。

(しかし、今後このようなケースには応じることは出来ないということにもなります。)

また市の平仁志保健福祉部次長からは、市の委託によって行っている移送事業は民間のタクシー会社の介護事業参入を圧迫するのではないかということで、撤退することにしたが、このような患者については想定外であったことを認めました。市長は特例で出来ないか検討して欲しいと指示がで



ました。

民間の介護事務所は、2ヶ所がストレッチャーを乗せられる車を持っているようですが、介護保険利用になるので、普通の通院には使えるけれど、入院、退院には、医療の分野なので使えないのだそうです。ぜひとも、これまでの社協のもっている車を使わせてもらいたく、回答しだいでまた交渉が必要になるかもしれません。(4月15日現在)介護保険での車に家族は乗せられないということはクリアできそうです。

YさんKさんのご家族からはもちろん、ほとんどのご家族の皆さんが現状を強く訴えられましたが、日ごろのお気持ちが少しは晴れたかなと感じましたが、問題はのこっています。時間を延長して面談くださいましたが、参加の皆さんは言い足りなかったのではないかと思います。

中には、まだまだ拭い去ることの出来ない不安から涙ぐまれる方もあり、ますますがんばらねばならないと感じました。

